

**トイレ関係の2業界団体
「日本衛生設備機器工業会」「温水洗浄便座協議会」が
4月2日より一般社団法人へ移行
～国民の住生活の向上とより豊かな住空間の醸成に向けて～**

2012年4月2日、トイレ関係の業界団体(任意団体)である「日本衛生設備機器工業会」および「温水洗浄便座協議会」は、一般社団法人へ移行しました。また、温水洗浄便座協議会は、工業会組織として新たにスタートを切りました。

<2012年4月2日付>

(任意団体)日本衛生設備機器工業会 → 一般社団法人 日本衛生設備機器工業会

(任意団体)温水洗浄便座協議会 → 一般社団法人 温水洗浄便座工業会

国民の住生活向上とより豊かな住空間を醸成するため、公益性の高い一般社団法人となり、積極的な情報発信やガバナンスを強化するなど、活動の充実を図っていきます。

<p>一般社団法人 日本衛生設備機器工業会 会長 張本邦雄(TOTO(株)社長)</p> <p><経緯> 1948年 日本衛生陶器工業協会 設立 1964年 日本衛生陶器工業組合 移行 1985年 日本衛生設備機器工業会 移行 2012年 一般社団法人 日本衛生設備機器工業会 移行</p> <p><会員企業> アサヒ衛陶(株) ジャニス工業(株) TOTO(株) TOTO サニテクノ(株) パナソニック(株) (株)LIXIL</p>	<p>一般社団法人 温水洗浄便座工業会 会長 張本邦雄(TOTO(株)社長)</p> <p><経緯> 2001年 温水洗浄便座協議会 設立 2012年 一般社団法人 温水洗浄便座工業会 移行</p> <p><会員企業> アイシン精機(株) アサヒ衛陶(株) ジャニス工業(株) テガ三洋工業(株) 東芝ホームアプライアンス(株) TOTO(株) パナソニック(株) (株)LIXIL</p>
--	--

<本件に関する問合せ先>

一般社団法人 日本衛生設備機器工業会 / 一般社団法人 温水洗浄便座工業会

本 部 担当:福 浦

愛知県名古屋市東区代官町39-18 日本陶磁器センタービル2階 TEL:052-935-7944

東京事務所 担当:中 尾

東京都新宿区市谷田町2-29 こくほ21 TEL:03-5206-5493

ホームページ <http://www.sanitary-net.com/>

<ご参考:各団体の概要>

1. 日本衛生設備機器工業会

衛生設備機器産業の健全な発展を図るとともに、国民の住生活向上とわが国経済の伸長に寄与することを目的に、昭和23(1948)年11月に「日本衛生陶器工業協会」として設立されました。その後、「日本衛生陶器工業組合」「(任意団体)日本衛生設備機器工業会」に移行し、このたび平成24(2012)年4月より、「一般社団法人 日本衛生設備機器工業会」として新たな一步を踏み出しました。

わが国における衛生設備機器産業の歴史は、明治45(1912)年1月、愛知県名古屋市の日本陶器合名会社(現在の(株)ノリタケカンパニーリミテド)の敷地内に設置された製陶研究所において水洗式の衛生陶器の製造技術の開発が行われたのがルーツとされていますが、その後、住宅の近代化と相まって、使い勝手に応じた改良が進み、広く全国に普及しました。

近年では、地球環境配慮のための節水をはじめとする省エネ推進や少子・高齢化社会下でのユニバーサルデザイン推進など、時代を先取りして積極的に取り組んでいます。

2. 温水洗浄便座協議会

温水洗浄便座産業の健全な発展を図るとともに、国民の住生活向上とわが国経済の伸長に寄与することを目的に、2001年4月に任意団体「温水洗浄便座協議会」として設立されました。そして2012年4月より、一般社団法人 温水洗浄便座工業会として新たな一步を踏み出しました。

温水洗浄便座はもともと医療用に開発されましたが、日本では1960年代半ばに欧米から輸入販売されたのが始まりです。その後、国内でも生産が始まり、洋風便器の普及とともに日本人の清潔志向に合致したことから急速に普及が進みました。現在の普及率は、一般世帯において7割を超えています。(2012年3月現在)

今後とも、環境負荷低減をはじめ、製品安全に関する取組みや規格の国際化への対応等を強力に推進するなど、高品質で安全安心な温水洗浄便座を提供してまいります。

以上